

チュートリアル課題 出張帰りの山田太郎さん

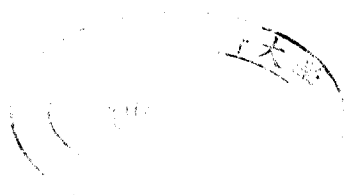
メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/11827

2006年度

Block 3 テュートリアル課題

課題番号 6

出張帰りの山田太郎さん



京都府立医科大学 医学部 消化器内科学 春田 郁子

消化器内科学 春田 郁子

課題名:出張帰りの山田さん

シート1

新入社員の山田太郎さんは、課長の小泉一郎さんとともに6ヵ月に及んだ東南アジア出張を終えこの度帰国した。

山田 「出張中は忙しかったですが、色々勉強になりました。また、現地で珍しいものをごちそうになったりして、充実していました。」

小泉 「山田君、出張してすぐ、現地法人の社長が突然亡くなって大変だったが、良く頑張ってくれたね。」

山田 「あの時はショックでした。還暦を迎えたばかりの社長が、黄色い顔をして、とても辛そうで、、、。」

抽出を期待する事項

1. 「黄色い顔」とはどういうことか？

→黄疸のメカニズム・ビリルビンの代謝を学習する。

→黄疸の病態を学ぶ。

2. 「還暦過ぎの社長」

→年令から考えて、起こる可能性のある黄疸を来たす疾患の鑑別を挙げる。

シート2

帰国翌日の出勤前、朝から山田さんは微熱と吐き気を感じ、体がだるくて辛かった。加えて尿の色がいつもより濃い感じがしていた。このため、会社に欠勤の電話をかけ、自宅で安静にしていた。

抽出を期待する事項

1. それまで元気であった人が急に、「微熱と吐き気、体のだるさ、尿の濃染」等が出現した場合、何か考えられる病気があるかリストアップする。
2. 肝炎、胆嚢炎などの原因・症状・病態を学ぶ。

シート3

山田さんは、2日間欠勤したが、症状は一向に改善しなかった。全身のだるさや尿の色が濃い症状は、ひどくなる一方だった。3日目になり山田さんはついに病院を受診することにした。病院に着く頃には、目が黄色かった。この時、山田さんは不安で一杯だった。

「今まで、病気といえば、大学生の頃、腹痛で病院を受診した際、胆石症と診断されたことがある。でも、すぐに痛みは軽快し、経過観察だけでよい、と言われていたのに。今回は、いったいどうしてしまったのだろう、、、。」

診察室で、医師は、現在の症状等を色々質問し、その後、診察を行った。診察の後、採血と尿検査にまわるよう山田さんに指示した。

抽出を期待する事項

1. 病気で不安な時の患者の気持ちにどう向き合うか、ヒューマンリレーションの観点から考える。

2. 「現在の症状等を色々問診し、」

→このケースの場合どの様なことを問診するのがよいかを考える。

3. 「採血と尿検査」

→全身倦怠感・黄疸を呈する患者の検査の進め方を学ぶ。

シート4

山田さんは入院し、治療を受けた。入院後1ヶ月目に、肝機能は改善し退院となった。

抽出を期待する事項

1. 「入院後1ヶ月目に、肝機能は改善し退院となった。」
→急性B型肝炎の臨床経過と、肝炎ウイルスマーカーの推移について学ぶ。